

日刊 發行所 常磐毎日新聞社  
 電話六三〇番  
 本社 下町通地 (電話六三〇番)  
 常磐毎日新聞社  
 電話六三〇番

# 常盤新聞

定部金 貳圓  
 一ヶ月 卅圓  
 三ヶ月 九圓  
 半年 一十八圓  
 一年 卅六圓

廣告 五字一行 一日一元  
 五字一行 一日一元  
 五字一行 一日一元

休刊日 日曜大祭  
 祝日 日曜大祭  
 日曜大祭

福島縣石城郡平町長橋町三五  
 發行所 常磐毎日新聞社  
 電話六三〇番

刊夕日一十月四

### 青年論議

常磐毎日新聞  
 (二) 一愛讀者

乙青年之れに對つて曰く  
 昔者孔子の弟子宰我、三年の喪を殺がんと欲す。孔子曰く。汝安ければ之をなせと。孔子と雖も如何ともする事能はず、心に於て安ければ爲すべしといふ已むを得ざるの言なり。倫理に従はずして安きものは如何ともなし難きなりと。今君に向つても唯だ良心に訴へんことを希望するのみ、其れ以外辯論の餘地なしと。甲青年更に問ふて曰く。君徒らに道德をいふ、然る

に道德とは果して如何なるものか。吾人人情自然の現はれるものとすれば、甘きを見て之を食ひ、美なるを見て之を喜ぶも亦人情自然の發現にして道德といふべきにあらずやと。乙青年對して曰く。カント曰く。自己の行ふ様なことを他人が皆模倣したと假定せよ。其れにて社會が治まると思はるれば此行爲は善なりと。實に然りと。此に至りて乙青年又答ふる所を知らず。カントはドイツの哲學者にして、純粹理性批判、純粹悟性批判、判斷力批判、の三書を著す。近世哲學第一の大家なり。荀子曰く。人

生れて利を好むことあり。是れに順ふ。故に爭奪生じて而して辭讓亡ぶ。生れて惡を好むことあり。是れに順ふ。故に殘賊生じて而して忠信亡ぶ。生れて耳目の欲あり。聲色を好むことあり。是れに順ふ。故に淫亂生じて而して禮義文禮亡ぶ。

(をばり)

一冊の代金で  
 御希望通りな  
 五冊の雑誌が  
 自由に讀める  
 川崎巡文庫  
 電話六三〇番  
 (申入次第規則書進呈)

新學期入學祝に  
 腕用時計を  
 會田時計店の  
 勉強振を見て下さい  
 電話三六三番

御案内  
 新譜取揃ました  
 時代劇映畫説明物等々

貸家 平町四丁目  
 一階建 商店向  
 二階建 商店向  
 同じく 商店向  
 右御希望の方は「吉傳」へ申込み願ひ上げます

花は櫻木  
 料理はイワキ  
 美味評判 イワキ食堂  
 オの部電話四六〇番

貸地  
 平の山の手の稱ある胡摩澤の高台  
 縣社八幡宮裏手に參千餘坪  
 貸空家  
 一ヶ月家賃 七、二〇  
 一ヶ月家賃 七、〇〇  
 附近の重なる建物——八幡宮。中學校。裁判所。小學校。女學校。  
 水道電氣の取附容易  
 御希望の方は左記へ御來訪下さい  
 マツモトヤ  
 電話二二四番  
 百澤商店  
 電話一二番  
 四丁目

耳鼻咽喉科専門  
 大和田醫院  
 平南町(電話一七〇番)

春の御仕立  
 小紋金紗  
 本セーブル  
 帶皮地  
 モス着尺  
 各種豊富に取揃へ申候  
 三井吳服店  
 電話三十八番

看護婦派出所  
 の求めに應ず  
 平町南町  
 看護婦會  
 電話三〇七番

本邦噴霧器界の權威  
 舶來品に優る堅牢無比  
 牛田式噴霧器各種  
 理化學研 果樹蔬菜消毒藥  
 究所新製 ネオトン 原藥  
 新人荷 石灰窒素肥料  
 ◎ネオトン、石 平町二丁目  
 灰窒素説明書御 申越次第進呈  
 西村屋藥舖  
 電話三番

印半天專門  
 優秀品の証明  
 草野染工場  
 領受牌金  
 電話三四八番  
 磐城 平町

店好イ買  
 良品ヲ安ク  
 クースーリ  
 関内藥舖  
 藥劑師 関内栄助  
 電話四〇番

園藝に親しむべき春が來ました  
 美しい、新しい、草花の  
 種子と球根 を御用意下さい  
 草花種子 ..... 一袋十錢  
 球根グラチオラス一袋二十五錢  
 ターリヤ ..... 同

目丁四町平  
 ヤトモツマ  
 部子種藝園  
 番四一二話電

健康を唄ふ春  
 春を歌ふ藥酒  
 然り、健康なればこそ三春の行樂亦一入なれ、  
 即ち、朝の一杯にて血を増し、夕の一杯肉を肥  
 して元氣健康を増進する、藥酒粟守酒こそ常に  
 吾人が青春の泉として推奨に客ならぬ所以、  
 平町一丁目  
 粟守酒特約店 大平屋藥店  
 電話六四二番

内科 (平町紺屋町)  
 小兒科 (平町紺屋町)  
 花柳病 (平町紺屋町)  
 藤沼醫院  
 電話五〇七番

材木ハ色川材木店へ  
 米材 杉五分板 入荷  
 地方材ヨリ廉賣ス  
 多少ニ不拘御用命ヲ仰付下サイ  
 平町  
 電話三四一 番

### 平附近に頻々と横行する大盗一味

#### 縣下の名刑事が悉く平に集まる

昨年中平町二丁目鍋嘉酒店裏手土蔵を破り衣類八十餘點其の他數百圓に達する盜難事件を始めたとして湯本山形屋旅館、四倉町大和田安太郎、草野村箱崎淺吉方等に

同様な事件を惹起してゐるので平署では全力を擧げて犯人捜索に努めてゐるが事件は全く迷宮に入つてゐる矢先内郷村白水の一家五人殺害事件警炭の遭難等で必死の奮闘を續けてゐるが悉く迷宮に入り何等の曙光だに見えぬので

當局では手を焼いてゐる折柄又々湯木町木村順平方に盜難事件が惹起するに至り平署は益々多端となり縣刑事課では平署に主力を傾注し縣下の腕利きの刑事は悉く平署に出張せしめ捜索を續けてゐるが何等の手掛もなく頻々として横行する大盗

一味に ついては一般では當局の無能をなじり非難の的となつてゐる

### 街路樹を植へ

#### 美觀を添へる

平町では字南側裏の新市街も殆んど完成に近づいた折柄街路の美觀を添へる施設

### 櫻笑み初む

#### 賑ひ間もなし

今春花ごき初頭の賑ひ日であらうと想像された昨日の忠魂祭は丁度日曜に當り前日來の雨雲はカラリと晴れて全く春らしく平町松ヶ岡公園南崖の早咲きは早く

お知らせ 實業の日本社發行「少女の友」五月號には、前號「大砲の打ち方」で好評だった川崎小鳥氏のラヂオ童話「花子はどこに」が掲載されてあります（廣告）

### 果實販路擴張

#### 石城組合協議會

石城郡地方は氣候風土の關係から果樹栽培は極めて有望で農家の専副業として重要視されて居り逐年之等栽培

培業者は増加の傾向にあるが當局に於ても極力獎勵して居るが果樹の販路の圓滑と擴張を圖るため石城果樹組合では来る廿日午前十時

### 櫻花とケンを競ふ

#### 藤田女學校のバザー

#### 来る十六七八の三日間

平町藤田女學校にては同校年中行事の一つである卒業製作品の展覽會及びバザーを來る十六七八の三日間開催する筈であるが品目は縮緬重物九十餘點、外各種手藝品千餘點等にて是れを部類分けにすれば

（裁縫物）エプロン、スクールバック、前掛、涎掛ネクタイ、其他  
（刺繍應用）座布團カバ、椅子カバ、枕カバ、鏡掛、草履、手提、其他  
（造花）バラ、スマイル、タンポポ、スズラン、忘れ草、其他  
（クレープペーパー）パーソン形、カップ入電燈カバ、小箱、キュービィさん、其他  
（マクラメ細工）電燈カバ、帶留、羽織の紐、手提袋  
（小細工物）針差、ビエロ、お手玉、ダンサー菜、



家庭欄

### 精進揚げ

筍を茹でましたら二三分くらゐの輪切りにいたしますそれを酒、醬油、砂糖を薄

### 炭礦地困る

#### 炭礦の負擔を軽く

四月から實施された新稅家屋稅の賦課について現住戸數によつて賦課するため炭礦の坑夫長屋も一戸と見るととなり炭礦の負擔も容易でないのが家屋數によつて割當てられた町村では結局炭礦以外の住民がこれをも負擔する事となるので内郷好間、湯本、磐崎、川部の各町村當局は非常に困惑し

から元郡衙に協議會を開き具體的に協議する筈であるが縣からは青山販賣主任並に東京取引店主出席する筈である

### 人力輓子總會

#### 平町人力車輓子共濟組合にては

本日午後三時より元協榮亭にて春季總會を開くと

### 植田消防檢閲

#### 植田警察署管内消防組聯合檢閲

は十五日午前八時から植田町植田小學校の校庭に於て舉行されるが當日は優良消防組員六十餘名勲績消防組員百五十名の表彰式をも行ふ由

### 入山精神講話

#### 石城郡湯本町入山炭礦立國自治會主催にて十日正午から湯本町三函座に於て平沼法學博士を招聘して精神修養講話會を開催したと

### 募集

#### 文藝其他投稿を募集します

職鈴木積善氏の「羅漢のいふ心持」と題する講演ある由

### 洪水に脅かされる平地方當面の急務

#### 水源涵養の設備として

#### 植林事業の實施

石城郡地方は降雨毎に水害に脅かされ、その慘禍はおびたしく全國においても有名な水害地であるがこの原因は明治維新當時鬱蒼たる自然林を地方民の亂伐の結果

### 水源地

が裸山となつたため去る大正十一年の洪水の折には死傷者百數十名を出し家屋の流失、堤防の欠潰等その被害甚大なるものがあつたの鑑み當

### 無自覺

#### から植林事業に努むる者少く縣當局でも縣令を以て補助規定程を設け獎勵に努めてゐる程であるが、現在同規程に依り縣補助を受けてゐるものは郡内にわづか四ヶ倉、赤井上遠野、下小川の四ヶ町村に過ぎぬが、一つには農村經濟及び治水關係上植林事業は同地目下の急務とされ

### 劍道優勝

#### 高久村勝つ

昨日の松ヶ岡公園に於ける石城郡忠魂祭を機として開かれた武德會主催劍道優勝旗争奪戦にて高久村勝利を博し優勝旗授與されたが同村は是れで三度目の優勝であるが因に高點試合の結果は左記の如くである

- △九人抜、高久村葉谷久太郎△六人抜、平町澤田淺次郎△五人抜、磐崎村佐藤公男△四人抜、平町齊藤貞信、澤渡村佐藤隆九△二人抜、磐崎村木田武内

### 忠魂祭の賑ひ

#### 花の松ヶ岡で

石城郡出身戦病没者忠魂祭は十日午前十時松ヶ岡公園にて舉行された縣立警城中學校、平商業學校、佐賢學校、平青年學校、平第一小學校、磐城高等女學校、藤田平陽兩私立女學校、平第二小學校等の生徒職員七千餘名の整列あり、遺族在郷軍人等の參拜ありて後大日本武德會警城中支部の劍道試合あり、まれに見る快晴に櫻のは、いむ公園は參拜かた、花見に繰出す群集のために大雑踏を極めた